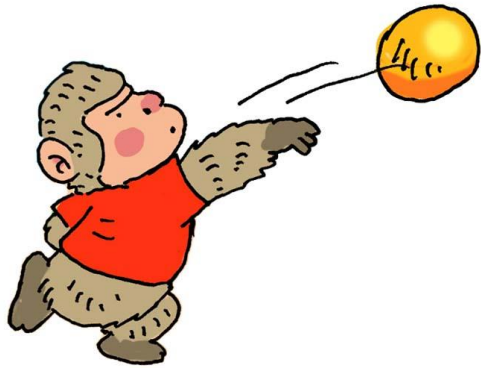


短期教室「ボールと縄跳び」ご参加の方へ



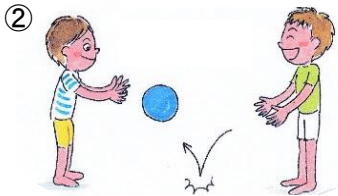
ボール運動と縄跳び運動は全く違う運動に見えますが、専門的な分類では「動きの先取り」の能力で「動く物」への対応ができるかどうかです。飛んできたボールをタイミング良く受け取る、まわってきたロープをタイミング良く跳ぶ能力が求められるからです。ただし、3歳前後では、まだこの能力が未発達の場合が多いので、できないことを心配する必要はありません。適切な方法で気長に練習すると身につきます。まっくの短期教室は、理論的に「先取りの能力」が身につくよう指導します。



《自宅で行うボール運動》

①ボールを追いかける

ボールを前方に転がし、つかまえさせる
突き指をしないので安心してできる



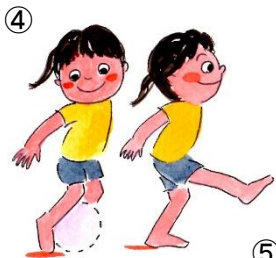
②ボール受け取り

ボールを床にバウンドして取らせる
ボールの高さは胸の位置になること



③ボール投げ

ボールを壁や目標に向かって投げる
ボールを持つ腕と前に出す足が逆になること



④ボール蹴り

ボールの真横に軸足をおき、蹴り足の内側で蹴る
両足で蹴る練習をする

⑤ボールストップ

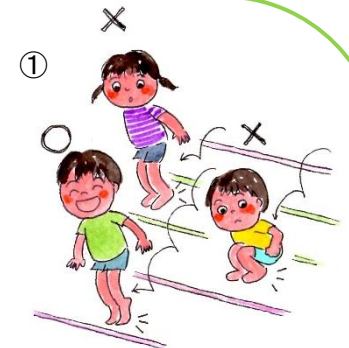
踵よりつま先を高く、上から押さえず、
足裏で受け止める
左右両足で受け止める練習をする



《自宅で行う縄跳び運動》

①ロープの連続跳び

ロープを30cm間隔に並べ連続跳び
踵を床につけないで最後まで連続



②前後ゆらし跳び

ロープを前後にゆらして跳ぶ
自分の方に来るときに跳ぶ

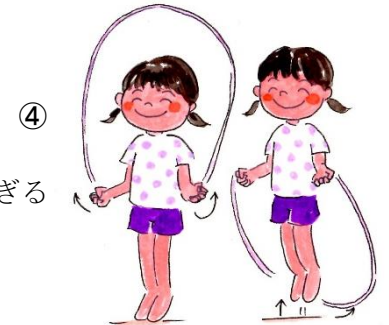


③ロープをまわしながら跳ぶ

ロープが真下に来たときにジャンプ

④連続跳び

ロープが床に触れる瞬間に跳ぶ
跳ぶタイミングが早いと高く跳びすぎる
膝を曲げずに、つま先でジャンプ



⑤腕交差跳び(あや跳び)

腕の交差位置は、おへその高さ
両手の高さを何時も同じにする